

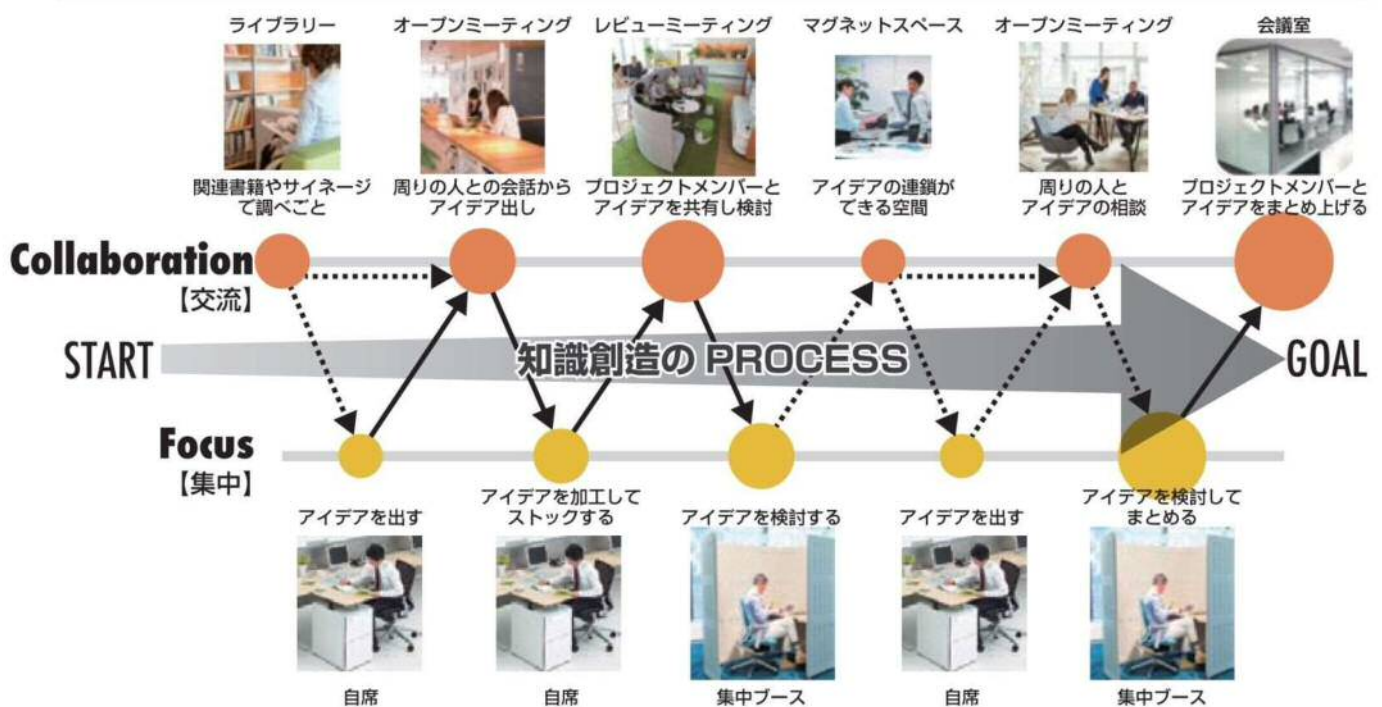
# 集中と交流の適度な関係。

従業員が個人レベルで思考をじっくり整理し、集中して作業する。そして従業員同士が交流し、一人ひとりが持つすばらしい発想や知識を共有しながら、アイデアを発展させていく。

この”集中と交流”の2つのプロセスを繰り返し、より高い次元へスパイラルアップすることで、アイデアはカタチになり、個人とチーム、そして企業はその質を高めていきます。

## 集中と交流の繰り返して、知識創造へ。

知識創造のプロセスに沿った集中と交流を設けることが重要です。



## オカムラが提案するソリューション

### 囲まれる環境

様々な集中と交流のスタイルをサポートする吸音性能に優れたパネルシステム。



### クイックミーティング

会議ではなく、短時間の打合せをサポートするコミュニケーション仕器。



### マグネットスペース

人が自然と集まる機能をまとめて設置し偶発的な交流と情報発信をサポート。

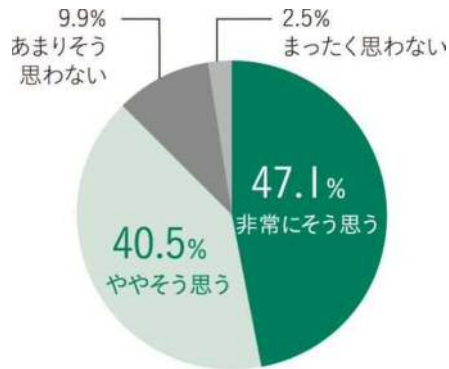


# 囲まれる環境で集中作業も交流も自由自在

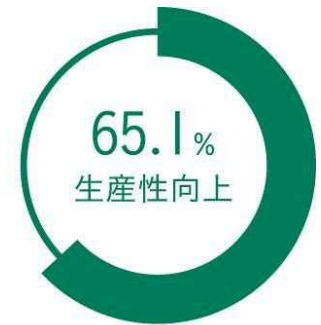
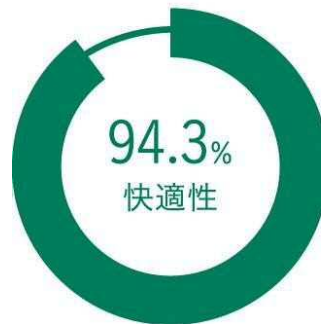
## 自席の環境が与える影響

オカムラが行った調査によると、オフィスで働く80%以上の人々が自席の環境を自分で選択・調節したいと考えています。また、その効果として快適性と生産性の向上を期待している人が大多数であることもわかっています。「いつ、どこで、誰と」を選ぶことで集中と交流のクオリティが高まり、結果として知識創造のプロセスのスパイラルアップが期待できます。

自席の環境を自由に調節したいか？



自席の環境を調節できることによって期待する効果は？



出典：Quiet Revolution

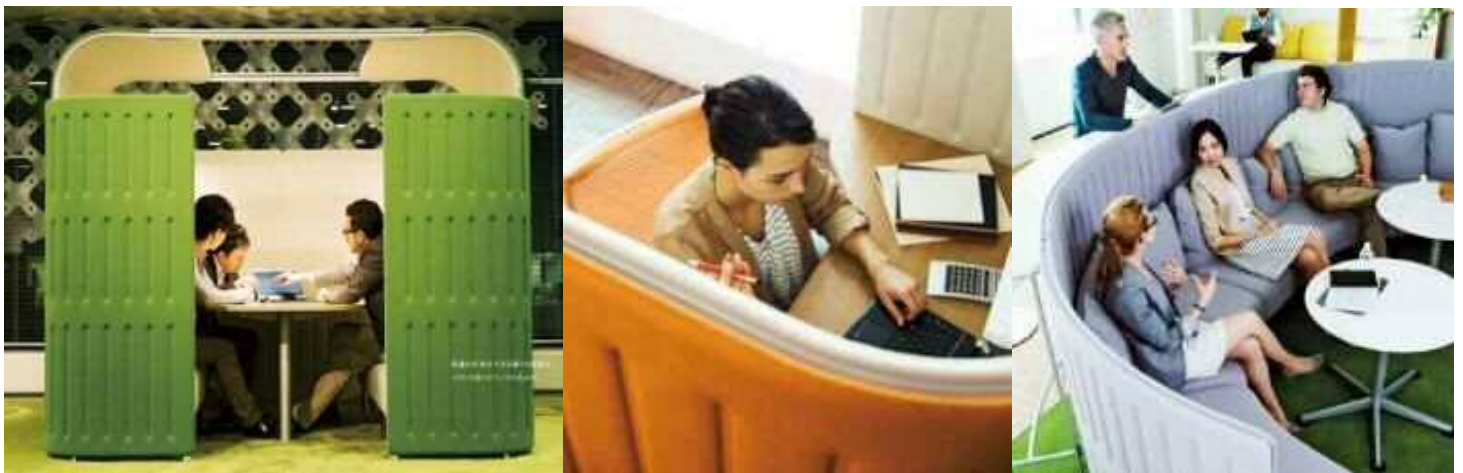
## Muffle 囲まれる快適

### 知識創造のプロセスに沿う集中と交流の場をつくるmuffle

多様な空間と働き方に応えるバリエーションで、個人とチームのそれぞれに快適な環境を構築するオフィスシステムです。リラックス感を醸し出すアール形状、圧迫感の少ない柔らかな表面材に囲まれて、外部からの視線や音などの刺激を適度に遮り、中にいる人の緊張感をほどよく和らげます。



詳しくはこちらのQRコードのサイトをご覧ください。



Panel



Sofa unit



Personal booth unit



Box meeting unit





# 立ち姿勢を取り入れて効率的な会議をしよう！

## 活発に意見が出る、効率的な会議をしていますか？

オフィスでは、毎日多くの会議が開催されていますが、そのすべてが効果的で効率的に運営されているでしょうか？ 活発な意見交換がない、何も決まらないまま終わるなど、会議に貴重な時間を浪費していないでしょうか？ 企業活動においては、このような業務のムダをなくし、効率化をはかることが生産性向上に結び付きます。そこで注目されているのが立ち会議のスタイルです。

これまでの会議・ミーティング



これからの会議・ミーティング



## 立ち会議を取り入れたことによる効果は？

オカムラでは、自社オフィスに立ち会議を設けて利用者全員にアンケート調査を実施しました。

### ①会議が効率化する

会議進行がはかどったと感じた利用者が約7割を占めました。会議を効率よく進行しようと努めるようになり、時間短縮につながることがわかりました。

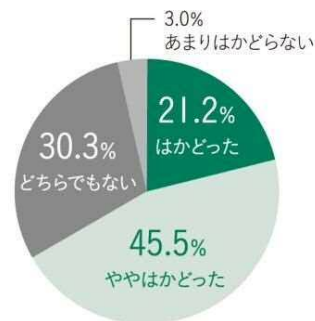
### ②会話が活発になる

立ち会議は気楽で明るい雰囲気という印象が強いです。また発言量や会話量が増えると感じた利用者が多く、より親密なコミュニケーションが促進されます。

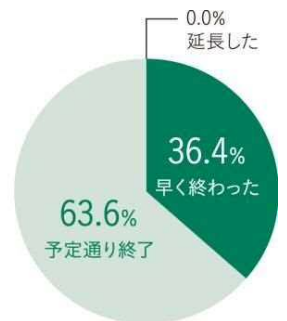
### ③ボードに「見える化」しやすい

立った姿勢になることで、ホワイトボードなども書きやすく、表示が良く見えるようになります。書き込みや発言が増えることで、会議が活発化する一因になります。

立ち会議の効果



立ち会議の終了時間



出典：Quiet Revolution

# Swift

アイデアが生まれるミーティングテーブル

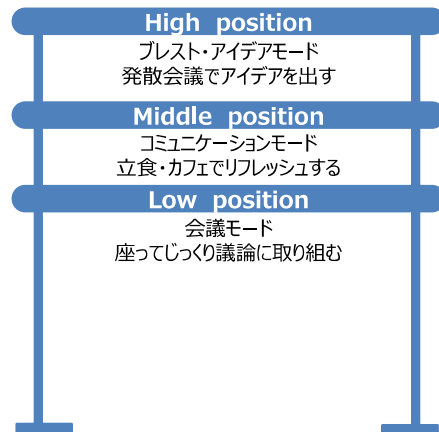


ミーティングの目的に合わせて、高さを変える。不思議とアイデアが広がる。意見がまとまる。

詳しくはこちらのQRコードのサイトをご覧ください。



## ポジション別の使い方例



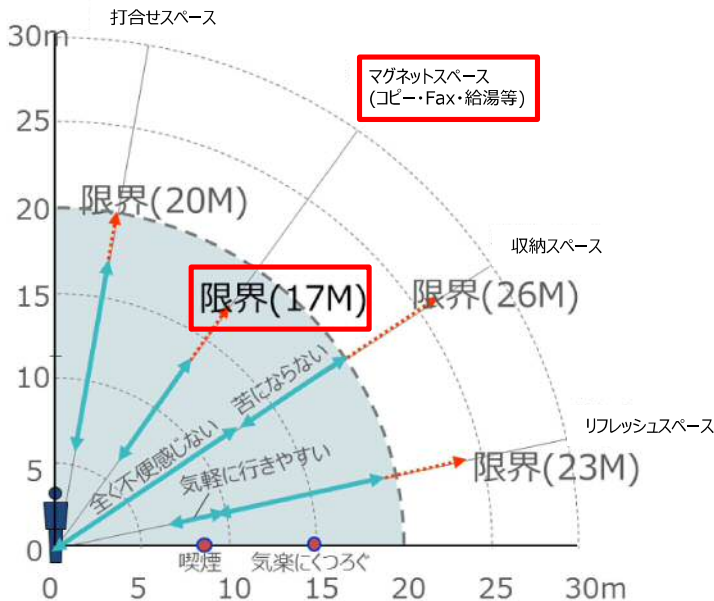
# マグネットスペースで、社員同士のコミュニケーションも促進

## マグネットスペースでの偶然の出会いがシナジー効果を生み出します

毎日の業務の中で必ず使用するコピーや給湯といったユーティリティーが設置された場所は、自然と皆が集まるマグネットスペースです。マグネットスペースでの出会いは、いつもは業務と一緒に行わないメンバーや、いつもは会話しないメンバーとの交流が促され、次の業務のアイデアにつながることもあるでしょう。

### 自席を中心としたオフィスの行為別の歩行距離

マグネットスペースへのアクセスは、自席を中心として17m以内をお勧めしております。



岡村製作所オフィス研究所調べ

### マグネットスペース空間実例



**作業テーブル**  
近くの壁面は、情報共有の場としても使われています。



**ハイカウンターとドライバントリー**  
ペンダントライトを下げて、空間にアクセントをつけています。



**雑誌コーナー**  
日々更新される雑誌は、バックナンバー管理もできる家具を使用し、表紙見せをして、手にとりやすい工夫をしています。

### マグネットスペースを構成する家具ラインナップ



Support & Communication  
**Alt KOBO**

毎日の作業を効率よく、スマートにこなせる共有作業スペース。



**Rectline**

文房具や帳票などの備品保管からプリンター周りの共有アイテムを効率的に収納。トラッシュユニットも取り揃えています。



**Alt Piazza**

ハイカウンターやトラッシュユニットをラインアップ。ドライバントリーでの気軽なコミュニケーションを誘発します。



お問い合わせ先

**KAMIHISA**  
株式会社カミヒサ

大阪市中央区大手通3丁目4番2号  
TEL:06-6942-5391 FAX:06-6947-0886  
e-mail:info2@kamihisa.co.jp